



令和5年度(2023 年度) 第3次枚方市男女共同参画計画改訂版 アクションプログラム進捗状況

令和5年度(2023 年度)の男女共同参画に関わる主な
事業の実施状況を5つの基本目標ごとにまとめました。

令和6年(2024年)10月

枚 方 市

目次

I	アクションプログラムの概要.....	1
1.	アクションプログラムの位置付け及び期間.....	1
2.	第3次枚方市男女共同参画計画改訂版の体系.....	1
II	令和5年度の総括.....	2
III	基本目標ごとの進捗状況.....	3
	基本目標1 人権尊重と男女共同参画への意識改革.....	3
	基本目標2 男女共同参画を阻害する暴力の根絶.....	4
	基本目標3 仕事と生活のあり方をさまざまに選択できる社会づくり.....	5
	基本目標4 だれもが安心して暮らせるまちづくり.....	6
	基本目標5 男女共同参画を推進する体制の整備.....	7
	全課を対象とした取組について.....	9
	参考資料.....	10
	男女共同参画の視点チェックシート.....	10
	第3次枚方市男女共同参画計画アクションプログラム指標の推移.....	12

■ アクションプログラムの令和5年度取組実績一覧は別冊に掲載しています。

■「II 令和5年度の進捗状況」は、基本目標ごとに次の項目1～4の構成で掲載しています。

- 1 第3次枚方市男女共同参画改訂版 指標
- 2 令和5年度 所管課評価
- 3 主な取組
- 4 今後の課題と取組

I アクションプログラムの概要

1. アクションプログラムの位置付け及び期間

第3次枚方市男女共同参画計画を推進するため、具体的な取組をアクションプログラムとして定め、計画的に展開。計画期間の平成28年度（2016年度）から令和7年度（2025年度）までの10年間に、アクションプログラムを前期と後期の5年ごとに策定。

年度	H28年度 (2016)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)
第3次枚方市男女共同参画計画										
第3次枚方市男女共同参画計画アクションプログラム	前期					後期				

2. 第3次枚方市男女共同参画計画改訂版の体系



Ⅱ 令和5年度の総括

令和5年度の施策の取組状況は、「未達成」は1施策であり、「概ね達成」が23.2%、「達成」が76.2%であった。令和6年度の方針性は推進・現状維持が165施策、改善、終了はともになかった。指標の推移については、策定時(令和元年度)と比較し、目指す方向に推移した指標は7指標、目指す方向に推移していない指標は7指標であることから、概ね目標に向かって取り組まれているものの、指標の達成に向けて引き続き取組を進める必要がある。

令和5年度所管課評価:取組の達成状況(全128施策)

達成	概ね達成	未達成	未実施
125 施策	38 施策	1 施策	0 施策

※1つの施策を複数課で評価しているものがあるため、施策数とは一致しません

●「未達成」の施策(施策番号)

(117)審議会の女性委員比率の向上

令和6年度の方針性

推進・現状維持	改善	終了
165 施策	0 施策	0 施策

指標の推進状況(全28指標)

目指す方向に推移または目標達成した指標	目指す方向に推移していない指標	推移なし (隔年調査含む)
7 指標	7 指標	14 指標

●目指す方向に推移または目標達成した指標(指標番号)

- (15) 保育所等利用待機児童数 0人(目標値0人)
- (16) 留守家庭児童会室待機児童数 0人(目標値0人)
- (17) 介護保険施設等の施設数 87施設(目標値93施設)
- (18) 育児休業を取得した男性職員数 87.5%(R4年度)(目標値100%)
- (23) 特定健康診査受診率 34.7%(目標値50%)
- (24) こころの病気に関する相談窓口の周知度 37.0%(目標値50%)
- (27) 管理職に占める女性の割合 28.5%(目標値30%)

●目指す方向に推移していない指標(指標番号)

- (14) 安心して子育てできる環境が整っていると感じている人の割合 39.3%(目指す方向 増加)
- (20) 安心して妊娠、出産できる環境が整っていると感じている人の割合 34.7%(目指す方向 増加)
- (21) 乳がん、子宮頸がん検診受診率 12.2%、17.8%(目標値50%)※子宮頸がんは目指す方向に推移
- (22) 妊娠11週以下での妊娠の届出率 96.5%(目標値97%)
- (25) ひとり親家庭の自立支援に関する給付金受給者のうち就職した人数 8人(目標値144人)
- (26) 枚方市防災会議の女性委員の割合 12.5%(目標値30%)
- (28) 審議会等への女性委員登用率 54.2%(目標値100%)

Ⅲ 基本目標ごとの進捗状況

基本目標1 人権尊重と男女共同参画への意識改革

1 第3次枚方市男女共同参画計画改訂版指標

指標	指標の説明	令和元年度 (中間見直し)	令和5年度	令和7年度 (目標)
男女の平等感	【男女共同参画に関する市民アンケート調査・一般】 社会全体で男女が平等であると思う人の割合	女性 9.6% 男性 23.4%	女性 16.3% 男性 21.4% ※参考数値	増加

※令和5年度枚方市市民意識調査「問10 男女共同参画社会が実現していると感じていますか。」

2 令和5年度所管課評価(別冊P1～P5 施策番号1～17)

達成	概ね達成	未達成	未実施
21 施策	3 施策	0 施策	0 施策

3 主な取組

人権尊重と男女共同参画への意識改革に向けては、**施策番号1「男女共同参画啓発事業」**において、身体的性差への理解促進を図るとともに、その性差を踏まえた女性の負担軽減を目的として、令和5年(2023年)4月より市役所本庁舎等の女性用トイレへの生理用品配置を開始、令和6年(2024年)4月時点で29施設に拡大した。また、**施策番号11「家庭教育支援事業」**において、男性講師による、男性の育児参加促進を目的にした市民向け講演会を実施し、父親や夫婦での参加を呼び掛ける等、男性に向けた意識啓発を行った。**施策番号16「市職員の理解促進及び当事者への適切な対応」**では、令和5年(2023年)統一地方選挙及び市長選挙において、トランスジェンダーの方への適切な対応に向けたマニュアルを選挙事務従事者に配布し、啓発に努めた。



市役所に配置された生理用品。利用者が生理用品の選択ができるよう、ナプキンとタンポンを設置している。

4 今後の課題と取組

男女共同参画社会の実現に向けては、男女共同参画社会が実現していると感じている割合が20%程度であることから、引き続き、固定的な性別役割分担意識の解消を図る必要があるため、女性だけでなく、男性の意識啓発を図る取組が必要である。また、幼い頃からの意識づけが重要であることから、乳幼児のいる家族に向けた啓発など、継続して実施する必要がある。

基本目標2 男女共同参画を阻害する暴力の根絶

1 第3次枚方市男女共同参画計画改訂版指標

指標	指標の説明	令和元年度 (中間見直し)	令和5年度	令和7年度 (目標)
枚方市配偶者暴力相談支援センター「ひらかたDV相談室」の周知度	【男女共同参画に関する市民アンケート調査・一般】 「枚方市配偶者暴力相談支援センター「ひらかたDV相談室」」という言葉を見たり聞いたりしたことがある人の割合	女性 28.9% 男性 17.5%	女性 44.2% 男性 30.3% ※参考数値	増加

※令和5年度枚方市市民意識調査「問11 枚方市にDV被害に関する相談窓口があることを知っている市民の割合」

2 令和5年度所管課評価(別冊P6～P12 施策番号18～41)

達成	概ね達成	未達成	未実施
22施策	9施策	0 施策	0 施策

3 主な取組

男女共同参画を阻害する暴力の一つであるハラスメントについて、**施策番号22「ハラスメントの防止に関する取り組み」**において、本市全職員を対象にハラスメント実態調査を実施し、結果から得られた課題の解消に向けて、職場環境の改善に係る取組を進めるとともに、研修動画の定期配信を開始した。DV被害者の支援として、**施策番号31「被害者支援体制の充実」**では、枚方市配偶者暴力相談支援センター「ひらかたDV相談室」において、DV相談を実施し、令和5年(2023年)度の相談件数(面接・電話)は1,745件と高止まりの状況であった。

4 今後の課題と取組

DVやハラスメントによる被害は継続していることから、男女共同参画を阻害する暴力の根絶に向けて、引き続き、学校や家庭における子どもの頃からの働きかけを行うとともに、「ひらかたDV相談室」の周知を行う必要がある。

1 第3次枚方市男女共同参画計画改訂版指標

指標	指標の説明	令和元年度 (中間見直し)	令和5年度	令和7年度 (目標)
安心して子育てできる環境が整っているか	【市民意識調査】 枚方市は安心して子育てできる環境が整っていると感じている人の割合	44.5%	39.3%	増加
保育所等利用待機児童数	国の定義による保育所等の利用待機児童数(4月1日現在)	0人	0	0人
留守家庭児童会室待機児童数	留守家庭児童会入室の待機児童数(当該年度1月末現在)	3人	0	0人
介護保険施設等の施設数	【ひらかた高齢者保健福祉計画 21(第8期(R3~R5年度))】 特別養護老人ホームなど介護保険施設等の施設数	86施設	87施設	93施設
育児休業を取得した男性職員数	育児に伴う休暇・休業を1か月以上取得した男性職員の割合(庁内)	47.5%	87.5% (R4年度)※	100%

※育児休業の対象となる子が1歳を迎えるまでであるため、前々年度に取得した職員の割合が最新の値となる。

2 令和5年度所管課評価(別冊P13~P19 施策番号42~70)

達成	概ね達成	未達成	未実施
34 施策	7 施策	0 施策	0 施策

3 主な取組

仕事と生活のあり方をさまざまに選択できる社会に向けた子育ての支援については、**施策番号 51 「放課後児童健全育成事業」**を、市立全 44 小学校内の施設等で実施しているほか、令和 5 年度からは、全 44 小学校の学校施設の一部を開放し、平日の放課後、土曜日、三季休業期に「放課後オープンスクエア」を新たに実施した。また、就業、起業等への支援として、**施策番号 61 「創業支援」**を実施、セミナー等の参加者における女性割合は高く、**施策番号 62 「地域就労支援事業」**においても、就労相談に 70 人の女性が参加、就職者の 8 割(17 人中 13 人)が女性であった。

4 今後の課題と取組

創業や就労に関するセミナーに多くの女性が参加されるなど、女性の就労意欲が高まっている一方で、安心して子育てできる環境が整っていると感じている人の割合が 40%を下回っていることから、女性が自らの働き方を自由に選択できるよう、子育てや介護に関する支援を継続して実施するとともに、就業や起業に関するセミナーを実施し、就労につなげる取組を引き続き実施する必要がある。

Ⅰ 第3次枚方市男女共同参画計画改訂版指標

指標	指標の説明	令和元年度 (中間見直し)	令和5年度	令和7年度 (目標)
安心して妊娠、出産できる環境が整っているか	【市民意識調査】 枚方市は安心して妊娠、出産できる環境が整っていると感じている人の割合	38.5%	34.7%	増加
乳がん、子宮頸がん検診受診率	乳がん検診対象者:40歳以上の女性(2年に1回の受診)	13.7%	12.2%	50.0%
	子宮頸がん検診対象者:20歳以上の女性	17.0%	17.8%	50.0%
妊娠11週以下での妊娠の届出率	妊娠11週以下での妊娠の届出数/全届出数	96.9%	96.5%	97.0%
特定健康診査受診率	高齢者の医療の確保に関する法律に定める特定健康診査の受信者/対象者(国民健康保険に加入する40歳以上75歳未満の者)	33.7%	34.7%	50.0%
こころの病気に関する相談窓口の周知度	【市民意識調査】 こころの病気に関する相談窓口を知っている人の割合	26.1%	37.0%	50.0%
ひとり親家庭の自立支援に関する給付金受給者のうち就職した人数	ひとり親家庭を対象とした自立支援教育訓練給付金や高等職業訓練促進給付金の受給者のうち就職した人数(累計)	71人	97人	144人
枚方市防災会議の女性委員の割合	枚方市防災会議の委員に占める女性の割合	15.0%	12.5%	30.0%

2 令和5年度所管課評価(別冊P20~P30 施策番号71~116)

達成	概ね達成	未達成	未実施
46施策	9施策	0施策	0施策

3 主な取組

生涯を通じたすべての人の健康保持と増進のため、**施策番号76「自殺予防対策事業」**において、「ひらかたいのちのホットライン」の周知を行ったほか、第2期自殺対策計画では、「女性への支援」を基本施策として新設した。また、**施策番号79「妊産婦健康診査事業、妊産婦歯科健康診査事業」**において、妊娠届出時に対象者全員に健診の費用助成を周知し、受診の促進に努めた。令和5年(2023年)度からは新たに、低所得者の妊婦等に対し、妊娠判定に係る産科受診料の補助を開始した。



4 今後の課題と取組

コロナ禍による女性の経済的不安等による自殺者増加を踏まえ、その要因となる社会的課題の改善に取り組むとともに、望まない妊娠を含む若年妊産婦の支援に向けて、関係機関と連携し取り組む必要がある。

1 第3次枚方市男女共同参画計画改訂版指標

指標	指標の説明	令和元年度 (中間見直し)	令和5年度	令和7年度 (目標)
管理職に占める女性の割合	市役所における女性管理職/全管理職(4月1日現在)	24.3%	28.5%	30.0%
審議会等への女性委員登用率	市役所における女性委員比率が35.0%を達成している 審議会等/全審議会	55.2%	54.2%	100.0%

2 令和5年度所管課評価(別冊P31~P33 施策番号117~128)

達成	概ね達成	未達成	未実施
2施策	10 施策	1 施策	0 施策

未達成施策(117) 審議会の女性委員比率の向上については、目標値100%に対し、令和5年度実績値は54.2%であったため、未実施と評価した。対応策として、各課が所管する審議会構成員において、構成機関の長(充て職)については長以外の者でも委員になれるのか検討するとともに、ドーンセンターが実施する女性委員の紹介制度の利用を促し、女性比率達成を目指す。

3 主な取組

政策及び方針決定過程における男女共同参画を推進するため、**施策番号119「管理職に占める女性職員比率の向上」**において、本市の目標比率30%に向けて、特定事業主行動計画に基づいた研修の実施や女性管理職のロールモデルの提示などを行った。また、全課対象施策である、**施策番号125「性別記入欄の必要性の確認」**において、「低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯分)」の請求書の様式に児童の性別欄は不要と判断し、請求者の性別欄のみを記載することとした。

各役職段階の職員の女性割合(正職員)

	R3 年度	R4 年度	R5 年度	伸び率 (R3 年度に対する R5 年度割合)
管理職	26.2%	26.1%	28.5%	8.8
理事級	0.0%	0.0%	0.0%	-
部長級	21.7%	21.7%	16.7%	▲ 23.2
次長級	15.8%	19.6%	21.1%	33.2
室長級	11.1%	12.5%	12.5%	12.6
課長級	22.8%	21.7%	25.4%	11.6
課長代理級	30.3%	29.9%	33.2%	9.6
係長級	34.6%	35.7%	37.4%	8.2
主任級	56.7%	56.8%	57.2%	1.0
係員級	65.3%	65.7%	66.6%	2.0

枚方市役所職員数

男性1,277名 女性1,238名

(令和5年4月1日時点)

出典:女性活躍推進法第21条に基づく女性の職業選択に資する情報の公表より

4 今後の課題と取組

本市職員の管理職女性割合は少しずつ改善されているが、今後も管理職のやりがいや魅力を伝える取組を引き続き実施し、昇任意欲の醸成につなげる必要がある。また、審議会等への女性委員登用率は策定時よりも減少しており、目標値には大きく届いていないことから、一層の取組が必要である。

全課を対象とした取組について

本市では、男女共同参画の推進に当たり、各自の業務に即した具体的な視点を確認できるように、令和4年度に男女共同参画の視点チェックシート¹を作成した。その内容について全職員が自己チェックを行い、その結果をもとに、不十分な点を認識、改善し、業務に当たるよう、所属長を中心として職員の理解促進、意識醸成を図っている。今後も継続した取組を進める必要がある。

Ⅰ 取組内容

- 男女共同参画の視点に立った表現の推進：基本目標Ⅰ基本方向（3）
 - ・ 市の情報発信において、男女共同参画の視点から確認し、性別に基づく固定的な役割分担意識にとられない表現を推進。
- 性の多様性に関する市職員の理解の促進及び当事者への適切な対応：基本目標Ⅰ基本方向（4）
 - ・ 毎年度、新入職員及び新任課長を対象として性の多様性に関する研修を実施。職員のための性の多様性への理解促進に向けたハンドブックを周知、活用。
- 男女共同参画の視点に立った施策の点検と実施：基本目標5基本方向（2）
 - ・ 性別を理由として役割を固定的に分ける考え方や、性別に関する無意識の思い込みが自分の中に存在する可能性に気づき、それを解消する必要性を理解した上で、事業を企画、制度を構築。
- 性別記入欄の必要性の確認：基本目標5基本方向（2）
 - ・ 市の申請書や証明書などの性別記入欄について、法的な根拠や事務執行上の支障がない場合は、不必要な性別欄を設けることがないようにするとともに、不適切なものがないか点検。

¹ 参考資料「男女共同参画の視点チェックシート」（PI 3～PI 4） 参照

男女共同参画の視点チェックシート

NO	所管事務	該当	確認内容	確認	【参考】例えば、こんなことはありますか？	参考資料
1	市民応対を行う業務がありますか。		①性別を理由として役割を固定的に分ける考え方や、性別に関する無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）が自分の中に存在する可能性に気づき、それを解消する必要性を理解した上で、市民応対を行っている。 ②性の多様性、SOGI（性的指向、性自認）を理解し、尊重する姿勢を持ち、市民応対を行っている。 ③市民応対に当たり、DV、性犯罪、セクシュアルハラスメントなど性差別に基づく暴力の背景を理解し、暴力を容認しない姿勢を持ち、被害者のプライバシーの保護、二次被害の防止を徹底している。		「どの家庭でも女性が家事や育児をしている」といった「女性は〇〇である」という性別に関する思い込みのもと、市民応対を行っていますか。 「どの家庭でも男性が仕事をして家計を支えている」といった「男性は〇〇である」という性別に関する思い込みのもと、市民応対を行っていますか。 「体の性と心の性は一致している」「性別は女性か男性のどちらか」という前提で、市民応対を行っていますか。 「好きになる相手は異性」「パートナーは異性」という前提で、市民応対を行っていますか。 DV は単なる夫婦喧嘩にすぎないという考え方のもと、被害者をさらに傷つける言動をとったり、被害者情報の取扱いを軽視したりしていませんか。 セクシュアルハラスメントを受ける方にも原因があるという認識のもと、被害者をさらに傷つける言動をとっていませんか。	（内閣府） A 無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス） B 枚方市職員のための性の多様性への理解促進に向けたハンドブック
2	事業企画、制度構築を行う業務がありますか。		①性別を理由として役割を固定的に分ける考え方や、性別に関する無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）が自分の中に存在する可能性に気づき、それを解消する必要性を理解した上で、事業の企画や制度の構築を行っている。 ※もともと男女に偏りがあるものを解消する目的で対象の性別を特定する場合は、差別的な取扱いには当たりません。 （例：父親向け子育て講座、女性のチャレンジ支援）		「どの家庭でも女性が家事や育児をしている」といった「女性は〇〇である」という性別に関する思い込みのもと、事業の企画や制度の構築を行っていますか。 「どの家庭でも男性が仕事をして家計を支えている」といった「男性は〇〇である」という性別に関する思い込みのもと、事業の企画や制度の構築を行っていますか。 合理的な理由なしに、参加機会、利用しやすさ、効果などがいずれかの性別に偏る事業の企画や制度の構築を行っていますか。※	A B

			②性の多様性、SOGI（性的指向、性自認）を理解し、尊重する姿勢を持ち、事業の企画や制度の構築を行っている。	「体の性と心の性は一致している」「性別は女性か男性のどちらか」という前提で、事業の企画や制度構築を行っていますか。	
				「好きになる相手は異性」「パートナーは異性」という前提で、事業の企画や制度構築を行っていますか。	
3	ホームページ、配布物等で市民に情報発信を行う業務がありますか。		①登場人物、回数が男女いずれかに偏った表現を行っていない。	複数の登場人物の中で女性又は男性が一人もいないか、極端に少なくなっていますか。	男女共同参画社会の実現をめざす表現ガイドライン（大阪府）／男女共同参画に関するフリーイラスト素材（内閣府ホームページ）
			②性別によってイメージを固定化した表現を行っていない。	いつも女性はスカートやエプロン、男性はスーツにネクタイ姿になっていませんか。	
			③性別によって主従、上下、優劣、強弱の関係を固定化した表現を行っていない。	いつも指示や命令をする側は男性、指示や命令を受ける側は女性になっていませんか。	
			④性別によって役割を固定化した表現を行っていない。	医師、弁護士、議員、消防士、運転士、警備員はいつも男性、看護師、受付、保育士、栄養士、客室乗務員はいつも女性になっていませんか。	
			⑤人物などの外見だけを強調した表現を行っていない。	伝えたい内容とは関係なく、興味を引くためだけに、若さや性的側面などの外見のみを強調する表現になっていませんか。	
			⑥男女の扱いが異なる表現を行っていない。	サラリーマンや営業マンなど、男性しか念頭に置いていないと誤解されかねない言葉を使っていますか。	
				女医、女社長など、女性を表す言葉で、男性を表す対語のない言葉を使っていますか。	
4	就業環境について、全課においてチェックしてください。	全課該当有	職場の一員として、性別にかかわらず誰もが平等に機会を与えられ、能力を発揮できる就業環境の形成に努めている。	育児期間中の女性職員は重要な仕事を担当すべきでないと、決めつけていませんか。	A B
				仕事より育児を優先する男性職員は仕事へのやる気が低いと、決めつけていませんか。	
				「体の性と心の性は一致している」「性別は女性か男性のどちらか」という前提で、職場のメンバーと接していませんか。	
				「好きになる相手は異性」「パートナーは異性」という前提で、職場のメンバーと接していませんか。	

第3次枚方市男女共同参画計画改定版アクションプログラム後期 令和3年度（2021年度）～令和7年度（2025年度） 指数の推移

基本目標1 人権尊重と男女共同参画への意識改革

指標	指標 番号	指標の説明	出典	後期アクションプログラム策定時の値 令和元年度（2019年度）	実績 令和6年度（2024年度）	後期アクションプログラム目標 令和7年度（2025年度）	所管課
男女の平等感	1	社会全体で男女が平等であると思ふ人の割合	男女共同参画に関する市民アンケート調査・一般	女性9.6% 男性23.4%		増加	人権政策課
固定的な性的役割分 担意識に同意しない 人の割合	2①	「男は仕事、女は家庭」という考えに「同感しない」又は「どちらかといえば同感しない」人の割合	男女共同参画に関する市民アンケート調査・一般	女性66.4% 男性57.2%		増加	人権政策課
	2②	「子どもが小さいうちは、母親は仕事をしないで、子どもの世話をしたほうがよい」という考えに「同感しない」又は「どちらかといえば同感しない」人の割合	男女共同参画に関する市民アンケート調査・一般	女性38.2% 男性28.8%		増加	人権政策課
	2③	料理、掃除、洗濯などの家事を「男の人と女の人が協力してするのがよい」と考える人の割合	男女共同参画に関する市民アンケート調査・学生	<小学生>女子73.1%、男子57.5% <中学生>女子80.2%、男子56.6% <高校生>女子81.9%、男子68.3% <大学生>女性92.1%、男性81.9%		増加	人権政策課
	2④	子どもが小さいときの子育てを「男の人と女の人が協力してするのがよい」と考える人の割合	男女共同参画に関する市民アンケート調査・学生	<小学生>女子73.6%、男子60.8% <中学生>女子78.4%、男子62.8% <高校生>女子85.8%、男子73.2% <大学生>女性90.9%、男性81.9%		増加	人権政策課
	2⑤	お金を稼ぐ仕事を「男の人と女の人が協力してするのが良い」と考える人の割合	男女共同参画に関する市民アンケート調査・学生	<小学生>女子63.5%、男子43.8% <中学生>女子66.1%、男子45.1% <高校生>女子74.4%、男子51.3% <大学生>女性78.3%、男性62.7%		増加	人権政策課

指標	指標 番号	指標の説明	出典	後期アクションプログラム策定時の値 令和元年度（2019年度）	実績 令和6年度（2024年度）	後期アクションプログラム目標 （令和7年度（2025年度））	所管課
「男女共同参画社会」の認知度	3	「男女共同参画社会」という言葉を「見たたり聞いたりしたことがある」人の割合	男女共同参画に関する市民アンケート調査・一般	女性61.5% 男性69.1%		78.00%	人権政策課
「女子差別撤廃条約」の認知度	4	「女子差別撤廃条約」という言葉を「見たたり聞いたりしたことがある」人の割合	男女共同参画に関する市民アンケート調査・一般	女性49.7% 男性50.0%		60.00%	人権政策課

基本目標2 男女共同参画を阻害する暴力の根絶

指標	指標 番号	指標の説明	出典	後期アクションプログラム策定時の値 令和元年度（2019年度）	実績 令和6年度（2024年度）	後期アクションプログラム目標 令和7年度（2025年度）	所管課
DVに対し誤った認識をしている人の割合	5①	「暴力を受けている人は逃げようと思えば、いつでも逃げ出せるはず」と考える人の割合	男女共同参画に関する市民アンケート調査・一般	女性19.5% 男性11.6%		減少	人権政策課
	5②	「暴力をふるわれた人にも、何らかの原因があるので、暴力をふるう人を一方的には責められない」と考える人の割合	男女共同参画に関する市民アンケート調査・一般	女性11.6% 男性20.0%		減少	人権政策課
DVを正しく理解している人の割合	6①	夫婦間における「なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたり、ひきずりまわしたりする」行為を「どんな場合でも暴力にあたると思う」人の割合	男女共同参画に関する市民アンケート調査・一般	女性96.5% 男性93.8%		増加	人権政策課
	6②	夫婦間における「大声でどなったり、なぐるふりをして相手を脅したりする」行為を「どんな場合でも暴力にあたると思う」人の割合	男女共同参画に関する市民アンケート調査・一般	女性74.8% 男性65.9%		増加	人権政策課

指標	指標 番号	指標の説明	出典	後期アクションプログラム策定時の値 令和元年度（2019年度）	実績 令和 6 年度（2024年度）	後期アクションプログラム目標 令和 7 年度（2025年度）	所管課
デートDVに対する 認識	7①	男女交際について「相手がいやがっているのに無理やりキスしたり、体をさわったりする」行為を「へんだと思う」人の割合	男女共同参画に関する市民アンケート調査・学生	<中学生> 女子98.7% 男子92.9% <高校生> 女子96.9% 男子94.6%		増加	人権政策課
	7②	男女交際について「友人とのつきあいをいやがったり、禁止したりする」行為を「へんだと思う」人の割合	男女共同参画に関する市民アンケート調査・学生	<中学生> 女子95.2% 男子89.4% <高校生> 女子91.7% 男子89.7%		増加	人権政策課
「デートDV」の認知度	8	「デートDV」という言葉を「知っている」又は「聞いたことがある」人の割合	男女共同参画に関する市民アンケート調査・学生	<中学生> 女子59.1% 男子44.2% <高校生> 女子89.0% 男子85.8% <大学生> 女性70.8% 男性57.2%		中学生 80.0% 高校生100.0% 大学生 77.0%	人権政策課
過去 1 年間に配偶者からの暴力を経験した人の割合	9	過去 0 年間に配偶者から身体的暴力、精神的暴力、性的暴力のいずれかを受けたことがある人の割合（別居中の配偶者、元配偶者（離別、死別した相手）も含む）	男女共同参画に関する市民アンケート調査・一般	・身体的暴力 女性9.6% 男性11.7% ・精神的暴力 女性19.2% 男性17.5% ・性的暴力 女性11.5% 男性2.9%		減少	人権政策課

指標	指標 番号	指標の説明	出典	後期アクションプログラム策定時の値 令和元年度（2019年度）	実績 令和6年度（2024年度）	後期アクションプログラム目標 令和7年度（2025年度）	所管課
交際相手からの暴力 を経験した人の割合	10	身体的暴力、精神的暴力、性的 暴力のいずれかを受けたことが ある人の割合	男女共同参画に関する市 民アンケート調査・学生	・身体的暴力 <高校生>女子0.0%、男子3.3% <大学生>女性5.6%、男性5.3% ・精神的暴力 <高校生>女子4.5%、男子6.7% <大学生>女性11.3%、男性9.5% ・性的暴力 <高校生>女子6.4%、男子2.5% <大学生>女性11.8%、男性4.3%		減少	人権政策課
DV相談窓口の周知 度	11	DV被害を受けたときの相談窓 口をひとつも知らない人の割合	男女共同参画に関する市 民アンケート調査・一般	女性4.4% 男性2.5%		0.00%	人権政策課
枚方市配偶者暴力相 談支援センター「ひ らかたDV相談室」 の周知度	12	「枚方市配偶者暴力相談支援セ ンター「ひらかたDV相談 室」という言葉を「見たり聞 いたりしたことがある」人の割 合	男女共同参画に関する市 民アンケート調査・一般	女性28.9% 男性17.5%		50.00%	人権政策課
配偶者からの暴力の 防止及び被害者の保 護等に関する法律 （DV防止法）の認 知度	13	「配偶者からの暴力の防止及び 被害者の保護等に関する法律 （DV防止法）」という言葉 を「見たり聞いたりしたことが ある」人の割合	男女共同参画に関する市 民アンケート調査・一般	女性89.6% 男性89.7%		100.00%	人権政策課

基本目標3 仕事と生活のあり方をさまざまに選択できる社会づくり

指標	指標 番号	指標の説明	出典	後期アクションプログラム 策定時の値 令和元年 度（2019年度）	実績					後期アクションプロ グラム目標 令和7 年度（2025年度）	所管課
					令和3年度 （2021年度）	令和4年度 （2022年度）	令和5年度 （2023年度）	令和6年度 （2024年度）	令和7年度 （2025年度）		
安心して子育てでき る環境が整っている か	14	枚方市は安心して子育てできる 環境が整っていると感じている 人の割合	市民意識調査	44.5%	— (R3実施なし)	45.8%	39.3%			増加	企画課
保育所等利用待機児 童数 ※施策番号42	15	国の定義による保育所等の利用 待機児童数 （4月1日現在）		0人	0人	9人	0			0人	私立保育幼 稚園課
留守家庭児童会室待 機児童数 ※施策番号51	16	留守家庭児童会入室の待機児童 数（当該年度1月末現在）		3人	94人	0人	0			0人	放課後子ど も課

指標	指標番号	指標の説明	出典	後期アクションプログラム策定時の値 令和元年度（2019年度）	実績					後期アクションプログラム目標 令和7年度（2025年度）	所管課
					令和3年度（2021年度）	令和4年度（2022年度）	令和5年度（2023年度）	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）		
介護保険施設等の施設数	17	特別養護老人ホームなど介護保険施設等の施設数	ひらかた高齢者保健福祉計画21（第8期（R3～R5年度）のR5年度の目標数値	86施設	88施設	87施設	87施設			93施設	健康福祉政策課
育児休業を取得した男性職員数 ※施策番号70	18	育児に伴う休暇・休業を1月上取得した男性職員の割合（庁内）		47.5%	89.2%	87.5%	※			100%	職員課
ワーク・ライフ・バランスの認知度	19	「ワーク・ライフ・バランス」という言葉を「見たり聞いたりしたことがある」人の割合	男女共同参画に関する市民アンケート調査・一般	女性55.1% 男性63.4%	— (R3実施なし)	—	—		—	71%	人権政策課

※指標番号18については育児休業の対象となる子が1歳を迎えるまでであるため、前々年度に取得した職員の割合が最新の値となる。

基本目標4 だれもが安心して暮らせるまちづくり

指標	指標番号	指標の説明	出典	後期アクションプログラム策定時の値 令和元年度（2019年度）	実績					後期アクションプログラム目標 令和7年度（2025年度）	所管課
					令和3年度（2021年度）	令和4年度（2022年度）	令和5年度（2023年度）	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）		
安心して妊娠、出産できる環境が整っているか	20	枚方市は安心して妊娠、出産できる環境が整っていると感じている人の割合	市民意識調査	38.5%	— (R3実施なし)	40.2%	34.7%			増加	企画課
乳がん、子宮頸がん検診受診率 ※施策番号75	21	乳がん検診対象者：40歳以上の女性（2年に1回の受診）		13.7%	12.2%	12.6%	12.2%			50.00%	健康づくり課
		子宮頸がん検診対象者：20歳以上の女性		17.0%	17.3%	17.4%	17.8%			50.00%	
妊娠11週以下での妊娠の届出率	22	妊娠11週以下での妊娠の届出数／全届出数	「第2次枚方市健康増進計画」の令和5年度（2023年度）目標より	96.9%	96.6%	96.6%	96.5%			97.0%	まるっとこどもセンター
特定健康診査受診率 ※施策番号74	23	高齢者の医療の確保に関する法律に定める特定健康診査の受診者／対象者（国民健康保険に加入する40歳以上75歳未満の者）	「枚方市国民健康保険第3期特定健康診査等実施計画 第2期データヘルス計画」の令和5年度（2023年度）目標より	33.7%	31.2%	33.8%	34.7% (R6 6/1現在)			50.0%	健康づくり課

指標	指標番号	指標の説明	出典	後期アクションプログラム 策定時の値 令和元年度（2019年度）	実績					後期アクションプログラム目標 令和7年度（2025年度）	所管課
					令和3年度 （2021年度）	令和4年度 （2022年度）	令和5年度 （2023年度）	令和6年度 （2024年度）	令和7年度 （2025年度）		
こころの病気に関する相談窓口の周知度 ※施策番号77	24	こころの病気に関する相談窓口を知っている人の割合	市民意識調査	26.1%	— （R3実施なし）	40.3%	37.0%			50.0%	企画課
ひとり親家庭の自立支援に関する給付金受給者のうち就職した人数 ※施策番号63・91	25	ひとり親家庭を対象とした自立支援教育訓練給付金や高等職業訓練促進給付金の受給者のうち就職した人数（累計）		71人	13人	5人	8人			144人	まるっとこどもセンター（ひとり親家庭相談支援センター）
枚方市防災会議の女性委員の割合 ※施策番号113	26	枚方市防災会議の委員に占める女性の割合		15.0%	15.0%	16.6%	12.5%			30.0%	危機管理政策課

基本目標5 男女共同参画を推進する体制の整備

指標	指標番号	指標の説明	出典	後期アクションプログラム 策定時の値 令和元年度（2019年度）	実績					後期アクションプログラム目標 令和7年度（2025年度）	所管課
					令和3年度 （2021年度）	令和4年度 （2022年度）	令和5年度 （2023年度）	令和6年度 （2024年度）	令和7年度 （2025年度）		
管理職に占める女性の割合 ※施策番号119	27	市役所における女性管理職／全管理職（4月1日現在）		24.3%	26.2%	26.1%	28.5%			30.0%	人事課
審議会等への女性委員登用率 ※施策番号117	28	市役所における女性委員比率が35.0%を達成している審議会等／全審議会等		55.2%	55.3%	68.1%	54.2%			100.0%	全課

令和5年度(2023年度)
第3次枚方市男女共同参画計画改定版アクションプログラム進捗状況

発行 令和6年(2024年)10月

事務局 枚方市市長公室人権政策課

住所:〒573-8666 枚方市大垣内町2丁目1番 20号

電話:072-841-1424／ファクス:072-841-1700